



牧水が歌を書き残した番傘

大正11年10月25日朝、沼田の青池屋の中庭にて。左から、伝田愛吉・生方吉次・牛口善衛・真下年男・若山牧水・植村祐三・植村婉外・金子刀水（生方記念文庫所蔵）

若山牧水～利根沼田の旅～

自然を愛し、旅を愛し、人を愛した若山牧水は、大正7年と11年に利根沼田を旅しています。今回の企画展では、牧水が訪れた沼田と沼田から片品川の奥へと向かう旅路を追います。

平成29年
2月9日(木)
▼
3月27日(月)

生方記念文庫 〒378-0047 沼田市上之町199番地1 TEL/FAX0278-22-3110
開館時間 9:30～17:00 / 休館日 毎週水曜日、2/12、3/21 / 駐車場 有り(3台)
観覧料 大人320円(210円)、小人(小中学生)160円(100円)※()は20名以上の団体料金

主催 沼田市 沼田市教育委員会

若山牧水～利根沼田の旅～

たつゑの夫生方誠は、大正11年に法師温泉に宿泊していた牧水のもとを親戚の生方吉次と共に訪ねます。その後、昭和40年に利根牧水会を発足させ『牧水利根の旅』『牧水利根の旅—写真集—』を発行しました。誠の残した利根牧水会の資料と共に、牧水が訪れた沼田の町や、牧水が歩いた片品川沿いの旅路を追います。この他、当文庫所蔵の牧水が歌を書いた番傘の複製や、昨年沼田市に寄贈された牧水筆の掛軸などを展示します。また、たつゑの短歌の師である歌人今井邦子氏と、牧水の妻で歌人の若山喜志子氏は、昭和5年に『女性時代』を創刊した河井醉明に短歌の指導を受けています。たつゑは、昭和10年発行の処女歌集『山花集』を若山喜志子氏に送るなど交流がありました。若山喜志子氏からたつゑ宛の書簡なども展示します。



『牧水利根の旅—写真集—』
利根牧水会刊 昭和41年発行

関連行事

①講演会

演題 「利根沼田の俳人・歌人の流れ」
講師 高山 正氏（沼田市教育委員会教育部長）
日 2月18日（土）

②講演会

演題 「牧水、みなかみでの足跡～鳥の声～」
講師 持谷 靖子氏
（財）三国路与謝野晶子紀行文学館館長
日 2月25日（土）

③歌と講演会「心で聴く白鳥の歌」

内容 牧水の有名な「白鳥の歌」の解説していただき、参加者みんなで歌います。また、牧水の友人石川啄木の「初恋」などを紹介します。
講師 須藤 恵氏（声楽家）
日 3月18日（土）

①～③いずれも、

時間 午後2時～
定員 20名（先着順、要予約）
場所 旧沼田貯蓄銀行2階広間
参加費 生方記念文庫観覧料
大人（210円）、小中学生（100円）
※直接文庫または電話で
お申し込みください。



【交通のご案内】

バス JR 沼田駅から関越交通バス6分 上之町
JR 沼田駅から関越交通バス6分 東倉内町
車 関越自動車道 沼田 ICから車で約10分
【駐車場】3台。満車の場合は、東和銀行西隣、又は沼田市役所をご利用下さい。